

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 子育て環境の充実  
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **認可外保育施設運営費補助金**

[0158]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成8年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>認可外保育施設</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>待機児童解消を補完する認可外保育所の安定した運営を図る。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>設置から1年以上経過し、定員が10人以上で、保育面積等が江別市認可外保育施設運営費補助金の対象となる認可外保育所の牛乳代、低年齢児保育に係る事業費、保育従事者の健康診断料に対してその一部を補助する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	認可外保育施設	施設	5	5	5	5
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	1,966	1,445	1,519	2,325
活動指標2	補助対象施設数	施設	4	3	4	4
成果指標1	入所児童数 (延べ数)	人	817	551	601	984
成果指標2	3歳未満児入所児童数 (延べ数)	人	478	370	360	612
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,966	1,444	1,518	2,325
正職員人件費 (B)		千円	837	836	830	833
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,803</b>	<b>2,280</b>	<b>2,348</b>	<b>3,158</b>

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 1,518千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	認可外保育施設における乳幼児の事故が社会問題化していることへの対応や、都市化の進行など児童を取り巻く環境が大きく変化し、認可外保育施設に入所している児童に対して健やかな成長のための対応が求められている。
--------	--	-------------	---

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

認可保育所に準じた入所児童への牛乳代の補助、認可保育所の低年齢児の待機児童の解消のための事業費補助及び入所児童が従事する職員から感染症を防ぐための健康診断料補助を行うので、江別市認可外保育施設運営費補助金交付要綱を定めて実施しており、市が行うことは妥当。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

認可外保育施設は、保育所待機児童の解消の役割を担っている。また保護者の勤務時間等の関係で入所している児童もいることから認可保育所の補完的な役目をしており、仕事と子育ての両立支援に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

保育園の入所率が高い数字を維持している現状を見ると、待機児童にとっては、認可外保育施設を利用することが見込まれる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小 なし

理由・  
根拠は？

補助により保育園運営の安定が図られるため、受入れ児童の増加につながる効果がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

認可外保育施設の入所児童数の変動により事業費も変動する。